やらまいか新聞

令和元年夏号
岐阜県議会議員
松岡 正人

人口減少に打ち克つ岐阜県を創る！！

　みなさまのご支援のおかげさまで、岐阜県議会議員として１２年活動させていただき、４月の選挙では無投票で４期目の新たな任期をいただきました。「初心忘るべからず」と心に秘めて、経験と人脈を活かしながら、岐阜県政の中堅議員として頑張っていく所存でございます。

　初当選の時と同様に、改選後初めての６月定例会の一般質問に登壇して、自分の理念を述べるとともに具体的施策を提言しました。

　皆様の声を県政の場に届ける代弁者として、岐阜県そして各務原市の発展のために尽くす所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

第三回岐阜県議会定例会

6月20日

一般質問

A　シニア世代が生き生きと安心して暮らせるまちづくりについて

（１）シニア世代が活躍できる社会づくりについて【知事】

（２）シニア世代の就業拡大等について【商工労働部長】

①県内企業の定年延長の現状と課題、今後の取組みについて

②シニア世代の就業・起業支援について

③シルバー人材センターの課題と今後の取組みについて

（３）シニア世代による地域活動の活性化について【健康福祉部長】

①老人クラブ等の活性化に向けた取組みについて

②生活支援ボランティアへの参入や介護分野への就労支援等について

（４）シニア世代の地域活動へのリーダーとしての参画について

①シニア世代を中心とした地域の人材育成について【環境生活部長】

②防犯ボランティアにおけるシニア世代への期待について【警察本部長】

B　就職氷河期世代に対する就労支援と移住定住支援について

（１）総合人材チャレンジセンター等を活用した今後の取組みについて【商工労働部長】

（２）就労支援と連携した移住定住施策の展開について【清流の国推進部長】

コメント

A　初当選からの政策理念「シニアが主役、子どもは宝」、について強い想いをこめました。

「シニア世代の活躍が岐阜県の将来を左右する」

「少子高齢化社会においてこそ＂共助＂が大切」

「シニア世代は社会的弱者ではなく＂第二の現役世代＂として生涯現役を期待」

B　現在、国では、高齢になってから生活困窮になるのを防ぐために雇用を安定させ、将来的な社会保障費の膨張を防ぐために「就職氷河期世代に対する就労支援」を推進しています。そこで岐阜県としては、担い手確保策や移住定住推進策と連携して、前向きな考えで取り組むべきと提言しました。

ブログ抜粋

ブログを始めて９年、毎日更新してます！

■ 第 23 回日韓スポーツ交流・成人交歓交流

4月25日

今日から５月１日まで「第 23 回日韓スポーツ交流・成人交歓交流」の岐阜県バドミントンチームの監督として韓国の忠清北道に滞在します。昨夜はセントレアに前泊して今朝搭乗をしましたが、大型連休を控えて空港の混雑は未だ経験したことのない凄さでした。この大会には、岐阜県から９種目で 110 人を超える選手と役員に加えて、愛媛県からも 40 名以上が参加する大きな交流事業です。９月には岐阜県内で開催される「スポーツマスターズ大会」に韓国から選手団をお招きすることになるので、今回の韓国での滞在でしっかりと親交を深めたいと思います。

■ 農林委員会　委員長

5月8日

改選後初めての議会となる令和元年第２回臨時議会と常任委員会、特別委員会などが開催されました。今年度、常任委員会では農林委員会の委員長を任命されたほか、少子高齢化社会の安心対策特別委員会と議会活性化改革検討委員会に配属され、地方競馬組合議会議員と住宅供給公社の理事に任命されました。常任委員会の委員長は６回目で全ての委員長を務めることになり、中堅議員としての自覚を持って経験と人脈を活かした議員活動をしていきたいと思います。午後からは正副委員長会議と地方競馬組合議会臨時会と会議が続き、明日と明後日も県庁での会議が続きます。

■ 岐阜県食品科学研究所（岐阜大学内）

5月16日

国立大学法人内に全国で初めて公設試験研究機関として設置された「岐阜県食品科学研究所」を研究依頼と視察のために訪問しました。この研究所には 10 年以上お付き合いのある岐阜大学の中野教授が研究室を持っているので、食品添加物に関しての研究依頼と完成したばかりの研究施設を視察しながら設備の説明を受けました。岐阜県産の農水産物の付加価値をあげたり、商品としての可能性を高める研究やヘルスケア関連の支援をしたりするための研究が行われていました。既に富有柿の鮮度維持など成果が出ている研究も紹介されていましたが、今後岐阜県の農産物や畜産物の付加価値向上に繋がる大きな可能性を感じました。

■ 青壮年議員連盟　会長として

5月18日

令和になって初めての自民党岐阜県連青壮年議員連盟の勉強会が、木村やよい衆議院議員をお招きして開催されました。会長としての挨拶では、統一地方選でメンバーが増えたこと、今後の議連の運営、参議院選挙に向けての街頭活動についてお願いしました。「虐待について」の勉強会でしたが、看護師でもある講師のお話は、実例の紹介も多く学びも多くありました。懇親会も盛り上がり、多くの市町村議員の方々やオブザーバーで参加された看護連盟の皆様と情報交換や意見交換をすることが出来て、有意義な時間でした。

■ 自民党岐阜県連　政務調査会

5月28日

午前中に自民党 岐阜県連の大会議室において政務調査会が開催され、６月定例会の一般質問の内容や意見書案などについて検討が行われました。一般質問の内容のみならず、県が行う事務事業の内容の精査等について議論が交わされ、いつもより活発な意見が多く出されました。午後からは岐阜土木事務所において、「日野岩地大野線」「岐阜鵜沼線」などの道路要望が、整備促進協議会から提出されるにあたり、地元議員として同席しました。各務原市と岐阜市が連携して推進することを働きかけてきましたが、ここ数年でしっかりと方針が出来始めて事業化の目処がつき、県としても随分前向きに検討がいただけるようになりました。

■ 一般質問登壇

6月20日

県議会定例会の一般質問２日目の午後１番で登壇し、１項目目に「シニア世代が生き生きと安心して暮らせるまちづくりについて」質問をして、知事及び関係部長や県警本部長から答弁をいただきました。各部局が連携するための連絡会議の設置など新たな取り組みとともに、現在行われている施策をより一層推進することについて前向きな答弁をいただきました。大きく２項目目の質問は、厚労省が先日発表した「就職氷河期世代に対する就労支援」について、岐阜県としては中小企業の人材確保策と移住定住政策を連携して推進することを提案しました。岐阜県としては、既に 30 代、40 代の就労支援は行ってきており、その取り組みを活かして、人材確保策や移住定住策に対して一層の施策推進を期待できる答弁をいただきました。

まつおか　まさと
松岡 正人
事務所

〒504-0908
各務原市那加織田町 2-5-1
【TEL】058-389-6665
【FAX】058-389-6676
【E-mail】shiawase@yaranaakan.jp

やらなあかんブログ　検索

ホームページ

ブログ

やらなあかん 改造計画

HAPPY COMMUNICATION